

問題解決的な学習の展開

臓器移植を巡る迷いをもとに生命の尊さについて問題解決的に学習する展開である。中学生の時期は、身近な人の死に接したり、自分の命のありがたさを感じたりする経験がまだ少ないと考えられる。臓器移植を巡って自分や身近な人の生命について深く考えさせることで、生命のかけがえのなさや、尊重する態度を培いたい。

<p>学習指導過程 範読時間：約5分</p>	<p>導入 展開 終末</p>	<p>実物の臓器提供意思表示カード 臓器移植の手術を受け助かった人の手記など</p>
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点【発問の意図】</p>
<p>導入 3分</p>	<p>1 臓器移植について知る。 発問○臓器移植や臓器提供意思表示カードについて知っていますか。 臓器提供意思表示カードの具体物を見せる。(免許書)</p>	<p>○臓器移植に関する知識の共有化を図る。適宜、脳死についてなど情報を補足する。</p>
<p>展開 15分</p>	<p>2 教材「臓器ドナー」を読み、考える。 発問①【問題をつかもう。】臓器移植を巡っては、どんな迷いや問題があるだろう。 ・生と死について。 ・臓器はほしいが、あげたくない。 発問②【自分で考えてみよう。】自分の意思を臓器提供意思表示カードに書き込んで、班で意見を交流しよう。 ・自分の大切な娘だから、自分勝手ではないと思う。 ・大切な家族なので、亡くなっても大切にしたいから。 ★発問③【問題について考え、議論しよう。】臓器提供の意思表示をしていない家族が脳死した場合、臓器提供することができるか、できないか、また、その理由を書いて、班で交流しよう。 ・班で紙に意見をまとめる。 ・班で意見をまとめたら、他の班の紙を見に行く。</p>	<p>○教材を読んで感じたことを出させながら、以降の発問で自分の問題（自分事）として考えられるようにする。 ○生命に関する判断は重く難しいものであり、だからその命のかけがえのなさについて深く自覚し尊重することが必要であり、正しい答えなどないことに気づかせる。 ○自分の命だけではなく、大切な人の命についてもどう判断するかを考えさせることで、生命尊重に関わって自分なりの道徳的判断に意識が向くようにする。 ○班で意見を共有し、互いの考えを理解し合う。</p>
<p>終末 5分</p>	<p>3 今日の学習を振り返る。</p>	<p>○教材中の人物や友達など、生命に対するさまざまな価値観に触れたうえでの、今の自分の生命に対する思いを振り返らせたい。</p>

<p>○臓器移植を巡る迷いや問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生と死について。 ・臓器はほしいが、あげたくない。 ・自分の命とほかの人の命。 	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div> <p>臓器提供意思表示カード</p>	<p>情報</p> <p>臓器ドナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生前に意思表示。
<p>板書例</p>		